河辺林通信

建部北町の森から

2016年 3月号　No.215

モリイコ！のこどもたち

モリイコ最終回は、1年間楽しく過ごした森のために、森を守る活動として、森を暗くしている常緑樹を伐りました。生えている木は、ノコギリの刃が思ったように動かなかったり、堅かったりと苦戦もしていましたが、倒れた木を森から引き出している姿はやり遂げた感にあふれていました。実際に伐採した場所で空を見上げると陽射しが舞い込み、地面まで光が届く環境になりました。伐った木は、幹を薪にし、細い枝をナイフで削り色鉛筆をつくりました。

モリイコ！Sは、家族を招待して一日ちびっ子隊長になり、たんけんに工作、たき火を行いました。森のことはもうまかせて！と、家族の人たちにいろいろと指示やアドバイスをしている姿が見られました。

家族の方も、子ども達に負けないくらい真剣に、そして本気で楽しんでくれました。天候にも恵まれ、とっても暖かい雰囲気の活動になりました。

終わってみるとあっという間の1年間でしたが、仲間意識がうまれたり、ノコギリやナイフなどの道具もコツを掴んでいたり、森の中でいろんなものを見つける力が身についたり…こういった力は、森の中だけで発揮されるのではなく、必ず子ども達のこれからの生活の場で大きく活かされると信じています。

10回の活動は終わりましたが、何かに夢中になること、できないことにチャレンジすること、これからも引き続き続けてくれると嬉しいです。

家族みんながモリイコ！隊員

保護者の方との連絡帳があります。隊長からは活動の様子を、保護者からは、子どもの様子を書いてもらっています。それらを読み返していて思ったのですが、モリイコ！を楽しみにしているのは子ども達だけでなく、家族の方もそうなんだなということ。始めは同じように不安になって、慣れてくると今日はどんなミッションかな？と考えて、そしてお迎えと同時に話を聞いて笑顔になって。

保護者の方から嬉しい言葉が、連絡帳やアンケートで頂いているので紹介させていただきます。

虫を触るのが大の苦手な娘が、トンボをつかまえたと聞いて家族で驚いています。

モリイコブログでは子ども達の笑顔や真剣な表情が毎回印象的です。息子もモリイコに行った日は楽しそうに色んな事を話してくれるので、良いコミュニケーションの1つになっています。

迎えに行き、自分の子ども、他のお子さん達の楽しそうな様子を見ると、心が開放されているのが伺えます。私が子どもに伝えたかった事がモリイコの中にはあるように思えます。

●2月の作業だより

第2土曜日（2月13日） 18人

この日はモリイコ！隊員の親子も駆けつけて作業に入ってくれました。

① 落ち葉かき

地面に光を当てて草木の発育を促すため、積もった落ち葉を山盛りかきました。

② 色々小部隊

春に芽吹く植物の周りに生えるササなどを手で丁寧に刈り取りました。残す物とそうでない物を観察して見分けながら行いました。

③ 昼食準備

地元のお野菜をふんだんに使った身も心もあったまるおいしいごはんでした。

木ままクラブ（2月4日） 14人

午前は林内スロープの柵のリニューアルとササの機械刈りをしました。午後から先月に伐倒したクヌギの後処理を全員でしました。枝が多くて大変でした。

梵釈寺（2月18日） 15人

2ヶ月ぶりの作業でしたが、とても作業がはかどり、すごく林内が明るくなりました。奥の池までの道ももうすぐ開通です。

第4水曜日（2月24日） 18人

森の西側のお墓まわりにある常緑の低木の木を切って綺麗にしました。とりあえず、遊林会で安全にできることから始めています。

3月の活動日と作業予定

3/3（木）	蒲生 岡本 梵釈寺 続き
3/12（土）	枯れ枝落とし ササ機械刈り
3/17（木）	木ままクラブ 下草刈りなど
3/23（水）	道向かい竹林内 枯れスギ伐採

朝 9:00～（遅刻可）
第2土曜日は、9:00より
1時間ほど観察会を行います

2月の観察会

2月の観察会は、森のランである「シュンラン」の話をしました。シュンランは森の明るい林床に生えるランの一種で、春に地面から茎を伸ばして控え目で可愛らしい花を咲かせます。稀に実をつけると、熟した実からはとても細かい種子が風に乗って森中に広がります。シュンランの細かい種子には発芽に必要な栄養が備わっていません。ではどうやって芽を出すのかというと、地面に落ちた種子はまずキノコ類の菌糸を呼び込んでその菌糸から栄養をもらって根や地下茎に少しずつ栄養を貯めます。数年間の地下生活を経てやっと地表に葉っぱを出して自分で光合成を始めるのです。

シュンランはこの森の保全活動をすることで、花を見ることが多くなった植物です。このように森を手入れすることによって、地面に光が差し込んで植物もいきものも森全体も活気付いた「今」があるのです。これからも活動を継続し、見守っていきましょう！

にぎやかな春がやってきます！

あっという間に2月が過ぎ、フキノトウが顔を出したり、日が長くなってきたり…春もすぐそばですね。森もどんどん、にぎやかになりますよ！

このキクザキイチゲは昨年の3月21日に撮った写真。毎年3月下旬が見頃です。

まずは植物。この森の春代表キクザキイチゲは、葉っぱを落ち葉の間から出し始めました。森のブログを見ると、昨年は3月17日に咲いたようです。今年は暖冬と言われているのでどうかな～？他にもツクシにスミレ、2月の観察会で取り上げたシュンランなど、楽しみですね！

もちろん春休みイベントも。大きなブランコにたき火に工作に…申し込みは９日まで！毎日開催（月曜日は休館）のクイズラリーは申込不要。春の陽気に誘われたら、河辺いきものの森へ！

編集後記

2月もあっという間でしたが、思い返すとなかなかに濃いひと月だったなぁ…。北小の4年生たちと冬の森を楽しんだり、モリイコ！の10回目に、大阪の小学生たちと竹を伐ったり…。最後はこの森初めてとなるペットボトルリサイクルのイベント。良い天気で、こどもも親御さんもそれからスタッフたちも、楽しいイベントになりました。（綿貫）

【発行者】
特定非営利活動法人
里山保全活動団体 遊林会
代表理事　井田 三良

〒527-0003
滋賀県東近江市建部北町531
河辺いきものの森内
電　話：0748-20-5211
メール：ikimono@e-omi.ne.jp